

COMMONSPIRIT HEALTH 政府政策補遺

補遺 財務 G-003A-1

発効日：2021年7月1日

件名: 財政支援 - カリフォルニア

関連政策

CommonSpirit 政府政策

財務 G-003, 財政支援

CommonSpirit 政府政策

財務 G-004, 請求と回収

CommonSpirit 政府政策 リーガル G-003, 財政支援（財政支援ポリシー）に記載されているように、CommonSpirit Health とその非課税直接関連会社¹および病院施設を運営する非課税子会社²（個々に CommonSpirit 病院機構といい、総称して CommonSpirit 病院機構といいます）は、CommonSpirit 病院機構において、患者の支払い能力に関係なく、すべての患者に差別なく緊急医療および医療上必要なケア（財政支援方針に定義されており、ここでは EMCare といいます）を提供することを方針としています。

このカリフォルニア州の補遺は、CommonSpirit 病院機構が、カリフォルニア州健康安全法典（セクション 127400-127446）に概説されている病院公正価格政策を遵守していることを文書化したものです。ここでいう CommonSpirit 病院機構とは、すべてカリフォルニア州にある施設を指します。本補遺のいずれかの条項が、資金援助方針または CommonSpirit ガバナンス ポリシー リーガル G-004, 請求と回収のいずれかの条項と矛盾する場合、本補遺が優先するものとします。

定義

慈善医療とは、資格のある患者に対する完全な経済的支援（すなわち、100%の割引）を意味し、患者さんとその保証人の、適格なサービスに対する支払い義務をすべて免除するものです。慈善医療は、患者さんに提供された適格なサービスに対して第三者が支払うべき金額（もしあれば）を減らすものではありません。本補遺版では、チャリティケアを割引やその他の経済的支援と区別して、財政支援プログラムの下で付与される金額を、口座残高の全額免除（チャリティケア）と口座残高の一部免除（割引やその他の財政支援）とに分けて説明しています。

¹ 直接関連会社とは、CommonSpirit が唯一の法人会員または唯一の株主である法人、およびコロラド州の非営利法人であるディグニティ・コミュニティ・ケアを指します。

² 子会社とは、非営利・営利を問わず、「直接の関係者」が運営組織の議決権の50%以上を占める権限を有しているか、または50%以上の議決権を有している組織（「直接の関係者」に一定の意思決定権を与える会員権や証券によって証明される）、または「子会社」がそのような権限や議決権を有している組織を指します。

割引医療とは、対象となる患者さんに対して、患者さんとその保証人の方の支払い義務を一部免除するための、部分的な財政支援を意味します。割引医療は、患者さんに提供された適格サービスに対して第三者が支払うべき金額（もしあれば）を減らすものではありません。財政支援プログラムから除外される割引は、申請が支払い能力ベースではない、通常の割引です。

必要不可欠な生活費とは、以下のいずれかに該当する費用を指します。家賃、住宅ローンや維持費、食費、家庭用品費、公共料金や電話代、衣服費、医療や歯科の支払い、保険料、学校または保育の費用、養育費、配偶者扶養費、交通費および車両維持費（保険、ガソリン、修理費を含む）、割賦金、洗濯および掃除の費用、その他の臨時費。

家族とは、患者さんと(a)18歳以上の方の場合、配偶者、カリフォルニア州家族法第 297 条に定義されるドメスティックパートナー、21歳未満の扶養家族（自宅に住んでいるかどうかは問いません）が含まれます。(b)18歳未満の方の場合、親、養育者の親族、および親または養育者の親族の21歳未満のその他の子供を含みます。

世帯所得は、IRS の定義する申請者および申請者の家族全員の修正調整後総所得に基づいて決定されます。また、病院は患者様のご家族の「金銭的資産」を考慮することができます。ただし、この判断のためには、金銭的資産には、内国歳入庁の下で適格とされた退職金制度や繰延報酬制度、または非適格繰延報酬制度は含まれません。また、患者さんのご家族の金銭的資産のうち、最初の1万ドルは資格の判定に考慮されません。また、最初の1万ドルを超える患者さんのご家族の金銭的資産の50%は資格の判定に考慮されません。

財政支援とは、慈善医療、割引医療、または本補遺に記載されているその他の形態の経済的支援を意味します。財政支援には以下のものは含まれません。

- 組織が収益として計上したものの、患者の支払い不能により償却された不良債権や回収不能な料金、またはそのような患者にケアを提供するための費用；
- Medi-Cal、その他の政府プログラム（Means-Tested Government Program）、または Medicare の下で提供されたケアのコストと、そこから得られた収入との差額；
- 自己負担またはプロンプト・ペイ割引。または
- 第三者支払者との契約上の調整。

困難時割引 (Hardship Discount)は、以下の条件を満たす患者様に提供される追加割引です。

高額医療費患者とは、医療保険に加入している方で、以下の2つの条件のいずれかを満たす方をいいます。(a)過去12ヶ月間に CommonSpirit 病院機構で個人が負担した年間自己負担額が、患者の家族の収入の10%を超える場合、または(b)過去12ヶ月間に患者または患者の家族が支払った医療費の書類を患者が提出した場合、年間の医療費の自己負担額が患者の家族の収入の10%を超える場合。

合理的な支払いプラン(Reasonable Payment Plan)とは、必要不可欠な生活費を除いた毎月の支払額が、患者の家族の収入の 10%以下である延長支払プランのことです。CommonSpirit 病院機構が本補遺規定に基づいて適格な患者を支援するために提供する延長支払プランは、無利息とします。

I. カリフォルニア州財政支援プログラムの要件

本補遺の以下の要件は、カリフォルニア州の CommonSpirit 病院機構でサービスを受ける患者に適用されます。

A. 慈善医療（最大で FPL の 250%）

家族所得が FPL の 250%以下の患者（保険に加入していない患者や医療費が高額な患者を含むがこれに限定されない）は、第三者からの支払い後に患者に提供された適格サービスについて、アカウント残高から 100%の割引を受けることができます。

B. 保険未加入患者および高額医療費（FPL の 350%以下）を負担する患者に対する割引および延払い計画

上記(A)項の慈善医療を受ける資格のない保険未加入の患者または医療費の高い患者で、家族の収入が FPL の 350%以下の場合、患者が受けた適格なサービスに対する割引医療および無利息の延長支払プランを受ける資格があります。この割引ケアは、対象となるサービスに対する予想支払額を、(i)CommonSpirit 病院機構がサービス提供のために Medicare、Medi-Cal、または病院が参加しているその他の政府支援医療プログラムから誠実に受け取ると予想される支払額のうち、いずれか最大のもを超えず、(ii)いかなる場合でも、患者に提供される対象サービスの AGB（財政支援ポリシーに定義されている）を超えない額に制限します。

要求に応じて、割引診療を受ける患者さんには、割引額を長期的に支払うことができる無利息の延長支払プランが提供されます。CommonSpirit 病院機構 と患者は、支払計画の条件について交渉し、家族の収入と必要不可欠な生活費を考慮するものとします。CommonSpirit 病院機構と患者が支払計画に合意できない場合、CommonSpirit 病院機構は、割引額を時間をかけて支払うことを可能にする合理的な支払計画を実施するものとします。

C. その他の保険未加入者向け割引（FPL の 350%超、500%以下）

保険に加入していない患者または医療費が高額な患者で、家族の収入が FPL の 350%を超え 500%以下の場合、患者が受けた適格なサービスに対する割引医療と、延長された支払いプランを受けることができます。割引では、患者の支払い予定額を適用される AGB 以下に制限します。

要望に応じて、この割引医療を受けられる患者様には、割引後の金額を 30 ヶ月以内に支払うことができる無利息の延長支払プランもご用意します。

D. 追加困難時割引

治療費の割引を受けたものの、(1)家族の収入と資産の合計額の 30%を超える支払い能力があり、(2)来年度の世帯収入の予測や、既存または予想される医療費の負担などの要素を検討した結果、支払い能力がないと判断された患者には、さらに困難時割引が適用される場合があります。この困難時割引の決定のために、CommonSpirit 病院機構は、決定時に有効な内国歳入庁の下で適格とされる退職年金制度や、繰延報酬制度の資産は考慮しません。

患者が資格基準のすべてを満たす場合、困難時割引を受けることになり、それにより患者の残りの債務は患者の (1) 世帯収入および (2) 金融資産の合計の 30%以下に減額されます。

また、ホームレスや一時的な滞在者とみなされる場合や、連邦・州・地域の管理下にあるインディヘントケアプログラムに参加している場合にも、この補遺に基づく割引や免除を受けることができます。

E. 合計料金の申請における制限

本補遺の対象となる医療（緊急医療または医学的に必要な医療）については、CommonSpirit 病院機構が経済的支援の対象であると判断された患者に請求する純額は、当該医療の総費用よりも少ないものとします。この金額は、すべての控除および割引（この補遺の下で利用可能な割引を含む）が適用された後に患者が個人的に支払う責任のある金額と等しく、保険会社から償還された金額を差し引いたものとなります。この金額には、健康保険の条件として保険会社が支払いを求める金額は含めないものとします。CommonSpirit 病院機構が発行する請求書には、本補遺の対象となるケアの総料金が記載され、契約上の手当、割引、控除を総料金に適用することができますが、個人が個人的に支払うべき実際の金額は、当該ケアの総料金よりも少ないものとします。

F. 緊急医師のサービス

救急医療施設を有する CommonSpirit 病院機構で救急医療サービスを提供する救急医は、保険に加入していない患者および FPL の 350%以下の医療費が高い患者に対して割引を行います。

G. 請求および回収活動

1. 利用可能な割引を適用した後の患者または保証人の未払い残高がある場合は、回収に回されることがあります。未払残金の回収活動は、経済的支援の適格性が最終的に決定されるまで中止されます。CommonSpirit 病院機構は、以下のいずれかの前に ECA を実行したり、回収業者に実行させたりしません。(a)患者が経済的支援を受ける資格があるかどうかを判断するための合理的な努力をする、または(b)最初の患者向け明細書が送付されてから 150 日後。病院施設のウェブサイトに掲載されている「CommonSpirit 請求と回収ポリシー」。

2. CommonSpirit 病院機構は、病院の債権を回収する機関から、CommonSpirit 病院機構の基準と業務範囲を遵守する旨の書面による合意を得るものとします。この同意書は、債権を回収する CommonSpirit 病院機構の関連会社、子会社、または外部の回収業者が、本補遺に概説されている CommonSpirit 病院機構の定義および合理的支払計画の適用を遵守することを要求するものとします。
3. CommonSpirit 病院機構または CommonSpirit 病院機構の関連会社もしくは子会社である他の譲受人は、本補遺のチャリティケアまたは割引支払規定に基づく資格を有する患者を扱う際に、未払いの病院請求書を回収する手段として、賃金差押えまたは主たる住宅への先取特権を使用してはなりません。
4. CommonSpirit 病院機構の子会社または関連会社ではない回収業者またはその他の譲受人は、本補遺のチャリティケアまたは割引支払規定に基づく患者との取引において、未払いの病院請求書を回収する手段として、賃金差押えまたは患者の主たる住居の売却を使用してはならない。
5. 患者に対する回収活動を開始する前に、CommonSpirit 病院機構、CommonSpirit 病院機構の譲受人、または回収業者を含む患者の債務の他の所有者は、以下を含む明確で目立つ書面による通知を患者に提供しなければなりません。
 - (a) 本条、ローゼンタール公正債権回収行為法（民法第 3 編第 4 部タイトル 1.6C（セクション 1788 から始まる））、および連邦公正債権回収行為法（米国法典第 15 編第 41 章第 V 章（セクション 1692 から始まる））に基づく患者の権利を平易にまとめたもの。概要には、連邦取引委員会が連邦法を執行している旨を記載します。
 - (b) 次の声明またはカリフォルニア州健康・安全コード § 127430 の改正で必要とされる追加声明。「州法ならびに連邦法では、債権回収者はあなたに公平に対応することが義務付けられています。また債権回収者に対し、虚偽の発言や暴力の脅威、不適切な言語や不敵な言語の使用、雇用主を含む第三者と不適切に連絡を取ることを禁止しています。債権回収者は特殊な状況を除き、午前 8 時前または午後 9 時以降にあなたに連絡してはならないものとします。通常、債権回収者はあなたの弁護士や配偶者以外の他人に負債に関する情報を提供してはならないものとします。債権回収者はあなたの居場所を確認したり、判決を執行するために他人に連絡をすることができます。借金取りの活動についての詳細は、連邦取引委員会に電話 (1-877-FTC-HELP (382-4357)) またはオンライン (www.ftc.gov) で問い合わせることができます。」

- (c) 非営利のクレジット・カウンセリング・サービスがその地域で利用できる可能性がある旨の記述。
6. 上記(5)号で要求される通知は、回収活動の開始が発生する可能性を示す文書にも添付しなければならない。
7. (G)項の要件は、回収活動に従事する事業体に適用されるものとします。CommonSpirit 病院機構が債務を他の事業体に譲渡または売却した場合、義務は、債権回収活動に従事した事業体（回収業者を含む）に適用されます。

経済的支援に関する患者への通知

- A. 分かりやすい言葉による概要書。** CommonSpirit 病院機構は、患者の受け入れまたは退院プロセスの一環として、患者に財政支援方針の平易な言葉による要約の紙のコピーを提供することにより、財政支援方針について患者に通知し、知らせるものとします。
- B. 請求書作成過程における財政支援方針の通知。** 退院後の請求書の一部として、CommonSpirit 病院機構は、各患者に対し、財政支援方針の利用可能性に関する情報を含む目立つ書面による通知を提供するものとします。（請求書に関連して提供される通知の詳細については、CommonSpirit ガバナンス ポリシー リーガル G-004, *請求と回収*を参照してください。）
- C. 財政支援方針の掲載通知。** CommonSpirit 病院機構の財政支援プログラムおよび平易な言葉による要約の通知は、CommonSpirit 病院機構の一般の人々が目にする場所に、以下のすべてを含めて明確かつ目立つように掲示しなければなりません。
- 救急科。
 - 請求書発行事務所。
 - 入院受付および関連の区域。
 - 待合室。
 - その他の外来環境。
 - その他、患者の出入りが多い場所や、CommonSpirit 病院機構による経済的支援を必要とする可能性が最も高い患者またはその家族に到達することが合理的に計算される場所。
- D. ウェブサイトへの投稿や要請に応じたパンフレットの配布。** CommonSpirit 病院機構は、本補遺、財政支援申請書、および平易な言葉による要約をウェブサイトの目立つ場所に掲載し、また、患者またはその家族が要求した場合には、それぞれの紙のコピーを、郵便および施設内の公共の場所（最低でも救急部（ある場合）および入院エリアを含む）で、無料で提供するものとします。

- E. 言葉の要件。** CommonSpirit 病院機構は、すべての書面による通知が適切な言語で印刷され、適用される州法および連邦法の下で必要とされる場合には、患者に提供されることを保証するものとします。
- F. 発表情報。** 必要に応じて、少なくとも年 1 回、カリフォルニア州の各 CommonSpirit 病院機構は、(a)当該施設での財政支援の利用可能性に関する広告を、当該施設がサービスを提供する地域社会で一般的に発行される新聞に掲載するか、(b)プレスリリースを発行して、当該 CommonSpirit 病院機構がサービスを提供する地域社会に対して、本補遺版に基づく財政支援の利用可能性を広く知らせます。
- G. 地域組織。** カリフォルニア州の各 CommonSpirit 病院機構は、関連組織、医師、地域の診療所、その他の医療提供者、礼拝所、その他の地域に根ざした組織と協力して、地域住民（特に経済的支援を必要とする可能性が最も高い人々）に、当該 CommonSpirit 病院機構での経済的支援の利用可能性を通知するものとする。
- H. 財政支援方針提供者の一覧。** CommonSpirit 病院機構は、その施設で緊急医療および医療上必要なケアを提供するプロバイダーのリストを公表し、どのプロバイダーが経済的支援ポリシーの対象となり、どのプロバイダーが対象外であるかを明記します。この一覧は、各施設を紹介するウェブサイトで入手できます。ハードコピーは、各 CommonSpirit 病院機構の入院・登録エリアまたはサイトで入手できます。

II. 保険および政府プログラムの適格性審査プロセス

CommonSpirit は、患者又はその代理人から、当病院が患者に提供した治療費の全額又は一部を民間保険又は政府の医療プログラムで賄うことができるかどうかについての情報を得るために、あらゆる合理的な努力をするものとします。

- 州または連邦の医療保険取引所と通して提供される保険または健康保険制度を含む、民間健康保険。
- Medicare、および
- Medi-Cal（適用される場合は Medicaid）、カリフォルニア州の児童サービス・プログラム、または健康保険を提供することを目的とする州が出資する他のプログラム。

CommonSpirit では、保険に加入していない患者さんや医療費が高額な患者さんには、この資格審査プロセスを完全に遵守していただくことを期待しています。

財政支援申請プロセス

- A. 患者さんが民間保険や政府主催の医療プログラムによる適用を示していない場合、患者さんが経済的支援を要求したり、**CommonSpirit Health** の担当者が患者さんが経済的支援を受ける資格があると判断した場合、**CommonSpirit** は以下のことも行うものとします。
- **Medi-Cal**（適用される場合には **Medicaid**）やその他の公的および民間の健康保険、または州や連邦政府の医療保険取引所を通して提供される保険を含む助成プログラムのメリットを、保険未加入のすべての患者に対して登録時に説明するためにすべての妥当な努力を払います。**CommonSpirit** は、潜在的に資格のある患者にこれらのプログラムへの申請を求め、申請書を提供し、その完成を支援します。申請書とサポートは入院患者が退院する前に、救急医療や外来を受ける患者に対しては妥当な時間内に提供されます。
 - **CommonSpirit** の財政支援ポリシーおよびその他の割引について、経済支援を受ける資格のある患者さんに資格要件を含めて説明する合理的な努力をし、経済支援の基準を満たす可能性のある患者さんには、サービス提供時または請求・回収プロセスにおいて、経済支援申請書を提供し、申請書の完成を支援するものとします。
- B. 患者が受けた適格サービスについて政府主催の医療プログラムの適用を申請する資格がある場合、患者が政府主催の医療プログラムの適用を申請して拒否されない限り、患者さんに財政支援は与えられません。患者さんが政府主催の医療プログラムを申請し、適用が拒否された場合、**CommonSpirit** は適用拒否のコピーを提供する必要があります。このような政府主催の医療プログラムの下での患者の適用申請は、本補遺の下での **CommonSpirit** からの財政支援の資格を妨げるものではありません。
- C. **CommonSpirit** は、政府主催の医療プログラム（例 **Medi-Cal, Medicaid, CHIP**）の資格があると思われる患者さんから完全な財政支援申請書を受け取った場合、患者さんの政府主催の医療プログラムの申請が完了して提出され、患者さんの当該プログラムの資格に関する決定がなされるまで、患者さんが財政支援を受ける資格があるかどうかの判断を延期することができます。
- D. 患者が退院後の最初の請求通知から **150** 日以内に財政支援申請書を記入・提出しなかった場合、**CommonSpirit** の病院機構は、**CommonSpirit** のガバナンスポリシーリーガル **G-004**, 請求と回収の規定を遵守することを条件に、**ECA** を含む更なる回収活動を行うことができます。
- E. **CommonSpirit** 病院機構は、以下の段落 **F** および **G** を条件として、各申請者に、各申請者の経済的支援の適格性を判断するために必要かつ合理的な書類の提出を求め

ます。申請者がこれらの書類の一部または全部を提供できない場合、CommonSpirit 病院機構は適格性の判断を行う際にこの不備を考慮します。適切な状況下では、CommonSpirit 病院機構は一部または全部の書類の提出を免除し、推定適格性審査または Medi-Cal 適格性承認によって財政支援を承認することができます。CommonSpirit 病院機構は、患者のアカウントにスクリーニングを記録し、また承認を書面で患者に通知します。

- F. 患者に慈善医療の受診資格があるかどうかを判断する目的で患者に要求する書類は、所得税申告書か、所得税申告書がない場合には給与の控えおよび資産に関する妥当な文書に限定されるものとします。ただし、資産には、内国歳入法の対象である退職手当制度または退職貯蓄制度に従う資産、または対象とならない退職貯蓄制度に従う資産は含まれません。CommonSpirit 病院機構は、CommonSpirit 病院機構が金融機関や商業施設、または金銭的資産を保有または維持するその他の団体から口座情報を入手することを許可する、申請者および患者の家族からの放棄またはリリースを要求することがあります。
- G. 患者に割引医療または他の財政支援を受ける資格があるかを判断する目的で取得する収入に関する文書は、所得税申告書に限定するものとし、所得税申告書を手でできない場合には給与の控えに限定されるものとします。また、申請者が延払い計画を求める場合は、必要な生活費の書類を提出するよう求めます。
- H. 上記(F)または(G)に従って入手した情報は、回収活動に使用しないものとします。本項は、慈善医療または割引支払の適格性プロセスとは無関係に、CommonSpirit 病院機構、回収業者、または譲受人が取得した情報を使用することを禁止するものではありません。
- I. 患者が財政支援を受ける資格があるかどうかを判断する目的で、患者家族の収入に加えて、CommonSpirit 病院機構は、患者の退院日またはサービス提供日以降の不利な経済状況、例えば、障害、失職、または患者の適格サービスに対する支払い能力に影響を与えるその他の状況を考慮することができます。
- J. 財政支援の適格性は、CommonSpirit 病院機構が本補遺に記載された情報を受領した時点でいつでも決定することができます。ただし、CommonSpirit 病院機構は、申請期間内に申請されなかった場合、経済的支援の申請を拒否する裁量権を有します。
- K. 本補遺に記載された経済的支援の資格要件を満たしているかどうかの判断に関連して、患者さん、患者さんのご家族、または患者さんの法定代理人から得た情報は、収集活動に使用してはなりません。
- L. 患者が複数の割引を申請し、それを受ける資格がある場合、複数の割引の組み合わせが CommonSpirit のポリシーで明示的に許可されていない限り、患者は患者が資格を有する最大の単一割引を受ける権利を有します。

- M.** 保険に加入していない患者、または医療費が高額な患者である可能性があるという情報を提供した患者については、**CommonSpirit** 病院機構、**CommonSpirit** 病院機構の譲受人、または回収業者を含む患者の債務の他の所有者は、最初の請求から**150** 日以前のいかなる時点においても、不払いのために消費者信用報告機関に不利な情報を報告してはなりません。